

令和6年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	地理歴史・地理総合	単位数	2単位	1年・普通科/生活文化科
使用教科書	高等学校 新地理総合 (帝国) 新詳高等地図 (帝国)		副教材等	新編 地理資料2023 (とうほう) 白地図作業帳 (とうほう) 高等学校新地理総合ノート (帝国書院)

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 2. 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 3. 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察できる。 4. 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 5. 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する態度を養う。
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システムと現代世界	第1章 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査	定期考査	振り返りシート
		第2章 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界		ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察
第2学期	B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解	第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査	定期考査	振り返りシート
		第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題		ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察
第3学期	C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災	第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	1 ・ 2 ・ 3	定期考査	定期考査	振り返りシート
		第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望		ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察

令和6年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	地理歴史・歴史総合	単位数	2単位	1年・普通科 / 3年・生活文化科
使用教科書	歴史総合（実教）		副教材等	明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院） 歴史総合演習ノート新課程版（実教）

1 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 2. 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察し、課題を把握し解決を視野に入れて構想する力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3. よりよい社会の実現に向けて、主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	A 歴史の扉	1 歴史と私たち	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査	定期考査	章末課題
	B 近代化と私たち	2 歴史の特質と資料 第1章 近代化への胎動 1 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2 江戸時代の生産流通と諸改革 3 幕政の改革と東アジア世界 第2章 欧米の市民革命と西洋の衝撃 4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5 フランス革命とウィーン体制 6 アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7 オスマン帝国の衰退とロシア イスラーム世界の拡大 8 アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9 江戸幕府の滅亡 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 10 イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11 明治政府の諸改革 12 日本のアジア外交と国境問題		ワークシート	ワークシート	振り返りシート
第2学期	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	13 自由民権運動と大日本帝国憲法 第4章 帝国主義の時代 14 帝国主義の時代へ 15 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16 日清戦争後のアジア 17 日露戦争と東アジアの変動 18 日本の産業革命 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 19 第一次世界大戦 20 ロシア革命とソ連の成立 21 米騒動とデモクラシー 22 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23 アジアの民族運動 24 第一次世界大戦後の欧米諸国 25 ひろがる社会運動と普通選挙の実現 26 世界恐慌と各国の対応 27 ファシズムの時代 28 満州事変と軍部の台頭 29 日中戦争と戦時体制 30 第二次世界大戦の勃発 31 第二次世界大戦の終結	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査	定期考査	章末課題
				ワークシート	ワークシート	振り返りシート
第3学期	D グローバル化と私たち	32 国際連合の成立と冷戦 33 日本占領と日本国憲法 34 朝鮮戦争と日本 第7章 冷戦と脱植民地化 35 植民地の独立 36 米ソ両陣営の動揺 37 日本の国際社会復帰と高度経済成長 38 石油危機と世界経済 39 緊張緩和から冷戦の終息へ 40 日本の経済大国化 41 地域紛争と対立 42 国際秩序の変容 現代的な諸課題の形成と展望	1 ・ 2 ・ 3	定期考査	定期考査	章末課題
				ワークシート	ワークシート	振り返りシート

令和6年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	公民・公共	単位数	2単位	2年・普通科/生活文化科
使用教科書	新版 公共（数研出版）		副教材等	最新 クローズアップ公共2024（第一学習社）

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>1. 現代社会の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>3. よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
---------	---

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第1学期	<p>第1章 公共的な空間をつくる私たち</p> <p>第1節 青年期と自己形成</p> <p>第2節 人間としての自覚</p> <p>第3節 日本人としての自覚</p> <p>第2章 公共的空間における人間としてのありかた生き方</p> <p>第1節 西洋近現代の思想</p> <p>第2節 現代の諸課題と倫理</p> <p>第3章 公共的な空間における基本原理</p> <p>第1節 民主社会の基本原理</p> <p>第2節 日本社会の基本原理</p>	<p>1 青年期の意義と課題</p> <p>2 自我の確立と自己形成</p> <p>1 生きることと考えること</p> <p>2 世界の宗教</p> <p>1 日本の思想</p> <p>2 日本の文化と西洋思想の受容</p> <p>1 近代科学の考え方</p> <p>2 人間の尊厳と幸福</p> <p>1 地球環境をめぐる問題</p> <p>2 資源・エネルギーをめぐる問題</p> <p>1 民主政治の始まりと基本的人権</p> <p>2 権力分立と法の支配</p> <p>3 個人と社会のかかわり</p> <p>1 日本国憲法と基本原理</p> <p>2 平等権・自由権</p> <p>3 社会権・参政権・請求権</p> <p>4 新しい人権・人権の国際的広がり</p>	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>小テスト</p> <p>ワークシート</p>
第2学期	<p>第4章 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>第1節 日本の政治機構</p> <p>第2節 政治参加と民主政治の課題</p> <p>第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方</p> <p>第1節 経済のしくみと市場機構</p> <p>第2節 財政と金融</p> <p>第3節 日本経済の発展と変化</p> <p>第4節 豊かな生活と福祉の実現</p>	<p>1 国会の仕組みと役割</p> <p>2 内閣の仕組みと役割</p> <p>3 日本の裁判制度と人権保障</p> <p>1 選挙と選挙制度</p> <p>2 政党の役割</p> <p>3 地方自治の現状と課題</p> <p>4 世論の形成と現代民主政治の課題</p> <p>1 経済生活のしくみ</p> <p>2 企業の働きと役割</p> <p>3 市場経済のしくみ</p> <p>1 国民所得と経済成長</p> <p>2 財政の役割</p> <p>3 金融の役割</p> <p>4 日本銀行と金融政策</p> <p>1 日本経済のあゆみ</p> <p>2 産業構造の変化と職業</p> <p>3 中小企業と農業</p> <p>1 経済社会とルール</p> <p>2 消費者問題</p> <p>3 公害対策と環境保全</p> <p>4 労働者の権利</p> <p>5 現代の労働問題</p> <p>6 少子高齢社会における社会保障</p>	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>小テスト</p> <p>ワークシート</p>
第3学期	<p>第6章 国際社会の動向と日本の役割</p> <p>第1節 国際政治の動向</p> <p>第2節 国際政治の課題と日本の役割</p> <p>第3節 国際経済の動向と国際協力</p>	<p>1 国際社会と国際法</p> <p>2 国際連合の成立と組織</p> <p>3 国際連合の役割と課題</p> <p>4 戦後の国際情勢</p> <p>1 日本の安全保障と日米安保体制</p> <p>2 軍縮への動き</p> <p>3 現代の紛争</p> <p>4 世界の人権問題と日本</p> <p>1 国際経済のしくみ</p> <p>2 戦後の復興経済・国際貿易体制</p> <p>3 経済のグローバル化と現代の国際経済</p> <p>4 地域経済統合</p> <p>5 南北問題とその課題</p> <p>6 国際社会における日本の役割</p>	1 ・ 2 ・ 3	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	<p>小テスト</p> <p>ワークシート</p>